

# AUTO RACE



**オートレース選手養成所**  
Japan institute of AutoRace



## オートレースとは

1周500m直線わずか87m足らずの競走路で、8人のレーサーが最高速度150km/hというスピードで通常6周回して順位を競い合う。

- 公営競技の中で(競馬・競輪・オートレース・オートレース)最速のスピードを誇る。
- 全国に5か所(川口・伊勢崎・浜松・飯塚・山陽)あるオートレース場でレースを行っている。
- 他の公営競技にはないハンデレースがある。



### オートレース専用の競走車

- 600ccのオートレース専用エンジンを搭載した競走車。(新人選手は、デビュー後一定の期間500ccのエンジンを使用)
- ハンドルは、レース中に水平に近くなるように左ハンドルが高く右ハンドルが低い。
- 走路とタイヤの接地性を高めるよう断面が三角のタイヤを装着。
- ギアは、ロー&トップの2段。
- 急激なブレーキ操作による追突事故を防ぐため、ブレーキはついていない。



エンジン



ハンドル



三角タイヤ

### オートレース選手とは

年齢や性別、経歴は全く関係なし!!  
実力で勝負できるプロアスリート

- 公営競技のプロスポーツ選手で、約400名の選手が活躍中。うち女性オートレーサーは22名!(2024.8.1現在)
- 選手の年齢は20歳~78歳(平均年齢約45歳)と幅広く、長く続けられる職業。
- 未経験から目指せるプロスポーツ選手で、平均年収は約1,460万円。(2023年度実績)
- レースは男女年齢関係なく、全てが実力の世界!!

## オートレース選手のランクと賞金

成績順で、S級（第1位～第48位）、A級（第49位～第280位）、B級（第281位～最下位）の3つのランクのいずれかに属しています。

新人選手はB級でデビューし、その後は成績でランクが決定します。ランクは、全てのレースの結果を得点化したものを計算して決定し、6ヶ月ごとに見直されます。ランクによってあっせん（各レースに出場する選手を配分する事）の内容に差があり、上位のランクの選手の方が下位の選手よりもグレードの高い（賞金の多い）レースに、より多く出場できます。

### 各級における平均賞金金額



平均年収 約1,460万円（2023年）

### 男子選手

〈2023年〉  
年間獲得賞金最高額

**1億2,190万円**

青山周平 選手



### 女子選手

〈2023年〉  
年間獲得賞金最高額

**4,359万円**

佐藤摩弥 選手



過去最高獲得賞金額 **1億4,800万円**（2004年 伊勢崎 高橋貢選手）

## オートレース選手のひと月のスケジュール

選手は月に2回程度開催に参加します。（新人選手は練習参加等も含め、月に3回程度）

1回の開催に係る日数は競走車の検査などの出場資格の確認を行う前日検査を含めて原則4～7日間となっています。

1年間でのレース参加日数は100～160日。残りはオフ日。つまり、1年で200日前後が休みです。

レースの間隔が1ヵ月程空く場合もあり、長期の旅行なども可能です。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
初日	2日目	最終日	オフ						前日検査	初日	2日目	3日目	4日目	最終日
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
オフ （※新人選手は練習参加）										前日検査	初日	2日目	3日目	最終日

**結果がすぐに、目に見える成果へ直結する。**

**休みと収入が多く、長く活躍できるのがオートレーサーという仕事。**

# 訓練紹介

オートレース選手養成所の養成期間前半は、基礎体力づくり、エンジン、競走車等の分解組立、基本操縦技術の訓練を行い、後半は、基本操縦技術を発展させた応用操縦技術や模擬レースの訓練に移行します。ここで身につけたテクニックを基本に、競走ルールに基づいたレースが出来るよう指導が行われます。その後、選手資格検定に合格し、配属レース場の実地訓練を経て、初めて、オートレースの新人選手としてデビューが出来ます。

## 年間スケジュール(例)

### ① 基本教育

#### 第1期 —— (入所後)約1ヶ月程度

体力作り、教練、エンジン始動要領、競走車、操縦技術の概念の教育等



押し掛け



競走車整備

#### 第2期 —— 約3ヶ月後

- ① 操縦技術の教育(基本乗車姿勢、コースの選定要領)等
- ② 競走車の分解組立、各種工具機械類の取扱い要領、  
学科(自動車工学、一般社会常識等、小型自動車競走法等)



基本走行



タイヤ削り

#### 第3期 —— 約3～5ヶ月

操縦技術の教育(各個操縦技術の完全習得等)、  
学科(登録規則、実施規則等)、整備技術教育等

### ② 応用教育

#### 第1期 —— 5～6ヶ月

操縦技術の教育(数車並列、接近、追い抜き、切り返し等)、  
学科(業務規程等)整備技術教育等



切り返し



二車並列

#### 第2期 —— 約6～8ヶ月後

操縦技術の教育(模擬レース等)、学科(選手に関する諸制度等)等

#### 第3期 —— 約9ヶ月後

配属先レース場での実施訓練等

## 卒業後、プロ選手としてデビュー

## 1日のスケジュール(例)

起床 6:30

日朝点呼 6:45

国旗掲揚 6:50



朝のランニング

7:45 朝食

8:30 掃除



朝食

訓練開始 9:00



走行訓練



昼食

12:00 昼食

訓練開始 13:00



教官からの訓練説明

17:30 国旗降下

18:00 夕食

18:40 訓練の振り返り



国旗降下



訓練の振り返り

19:30 入浴

21:00 夜の点呼

22:00 消灯



夜の点呼

## 養成の特徴



訓練時の走行ラインや走行フォームをモニターにてリアルタイムで確認可能。



走行軌跡をデータ化し、フィードバックできる機材の導入。



候補生それぞれの走行ラインや走行フォームにあった指導の実施。



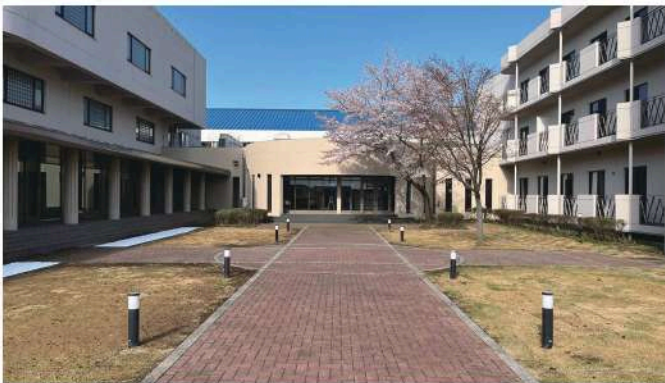
現役オートレース選手による定期的な指導の実施。

# 施設紹介

オートレース選手養成所は、茨城県下妻市の筑波サーキットの敷地の中にある、日本で唯一のオートレーサー養成機関です。全寮制の選手養成所に入所し、約9ヶ月間オートレーサーとして必要な知識・技能を習得するほか、公営競技の選手として優れた人材の育成を行っています。

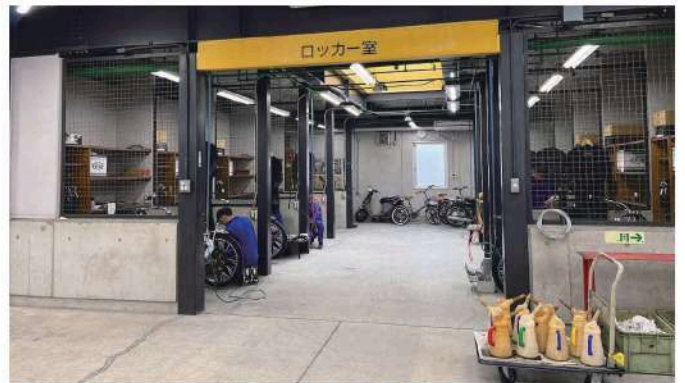


**競走路** 全国のオートレース場と同一規格の一周500mの競走路



**本館** (正面:候補生玄関、右側:候補生宿舎)

◎候補生の居住スペース

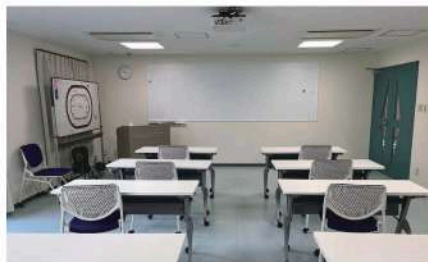


**整備工場**

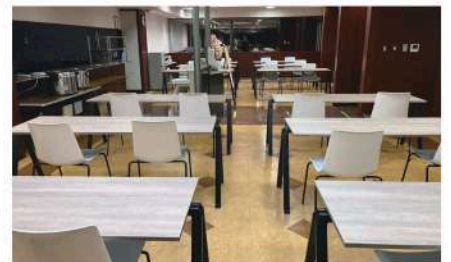
◎競走車を格納するロッカー室と広々とした作業スペースがある  
◎競走車の整備・調整及び修理に必要な部品・工作機械等を完備



候補生居室



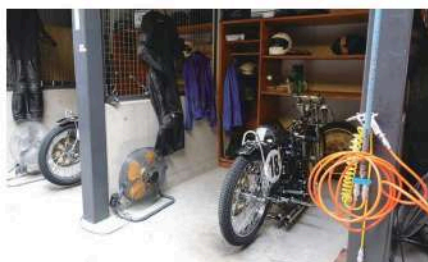
教室



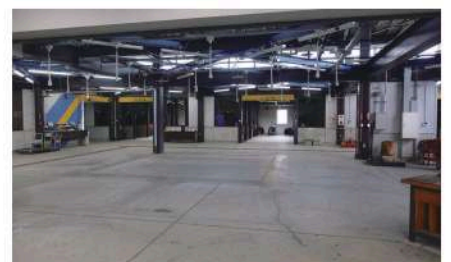
食堂



浴室



候補生ロッカー



作業スペース(整備工場内)

# 卒業生紹介



浅倉樹良 Juran Asakura

LG:伊勢崎オートレース場

## Q. オートレース選手になろうと思ったきっかけ

A. 3歳からポケバイを続けており、ポケバイレースのイベント(キューポラ杯)で川口オートレース場を走った際にオートレースを知りました。小さい頃から、バイクレースでご飯を食べていくのが夢だったため、オートレース選手を目指しました。

## Q. 養成所で力を入れたこと

A. 「1日1日大切に全力でやっていけよ。悔いのないよう卒業しろよ。」という言葉を知人から受け、養成所での9カ月間、1日1日全力で練習に臨み、積み重ねたことが、選手資格検定での3.37秒(6周回平均100mあたり)というタイムと、最優秀賞に繋がったのかなと思っています。

## Q. 新人選手開催日の一日の流れ・オフの日の過ごし方

A. 朝は、先輩選手よりも早く起きて、新聞と出走表を配り、先輩方のロッカーを回り挨拶をします。その際に、先輩が何か整備をしていたらそれを手伝い、その後自分の競走車の整備(タイヤやエンジン)をしたりして、レースに向けて準備をしています。  
オフの日は、アウトドアが好きなので同期と遊びに行ったり、海や山へ行ったりしてリフレッシュしています。



## Q. 受験生へ

A. 試験を受ける機会があったらぜひ挑戦してみてください。第一歩を踏み出したことで、何か自分の良いきっかけになったりするかもしれないので。もし選手になったらオートレース業界でお待ちしております。頑張ってください。



北市唯 Yui Kitaichi

LG:浜松オートレース場

## Q. オートレース選手になろうと思ったきっかけ

A. もともとロードレースをしており、人と競い合うことがとても好きだったため、人と競い合うことを職業とし、レーサーとして稼ぎたいと思い、オートレース選手養成所を受けました。

## Q. オートレーサーという仕事のやりがい・魅力

A. プロレーサーとして、ご飯を食べていきかけたので、それが今実現できていることにすごくやりがいを感じます。  
競い合うことが好きなので、自分の実力がはっきりわかることは自分にとって魅力かなと思います。

## Q. ロードレースの経験は

A. 車の挙動や乗り方は全然違いますが、二輪としては似ているところが多いので、ロードレースの経験はすごく役に立っています。  
ただ、乗車訓練の中で、どうしても乗り方やアクセル操作などにロードの癖が出てしまい、その癖を抜くことはかなり苦労しました。

## Q. 入所試験合格に向けてやっていたこと

A. 試験の半年前からキックボクシングジムに通い、筋力増強・体幹をメインに体力づくりを行っていました。走ったりもしていたので、持久力もつきました。また、自分はオートレース場が近くに無く、試験に受かるまで本場でオートレースを見たことがなかったので、オートレースのことを調べたり、ライブ中継やYouTubeなどオートレースの色々な動画を見たりしていました。



石橋啓士 Keishi Ishibashi

LG:飯塚オートレース場

## Q. オートレース選手になろうと思ったきっかけ

A. 小さい頃からサッカーをしていたこともあり、その頃から勝負の世界であるスポーツ選手に憧れていました。しかし高校生でスポーツを引退し、卒業後サラリーマンとして働き始めた時に、なにか物足りないという感覚が自分の中にあり、今までのことを振り返った時に、自分は勝負の世界で生きてきて、そこに刺激されて、ずっと楽しい生活がおくれてきたのだなと実感しました。そんな時に知り合いの方からすすめられ、オートレースを知り、オートレースの世界に飛び込もうと思って入所試験を受けました。

## Q. オートレーサーという仕事のやりがい・魅力

A. やりがいしかないです。自分が頑張って成果を出せばその分収入をもらえるし、レースによって、勝ちたいという気持ち、負けて悔しいという気持ちが毎日違うので、毎日刺激があり、充実した生活を送れています。また、ずっと身長が低いことがコンプレックスだったのですが、身長が低い分、体重が比較的軽いので、スタートが有利だったり、まだ結果は出ていませんが、これから身長が低いことを武器にしていけることに、自分はすごく魅力を感じました。

## Q. バイク未経験での挑戦について

A. 最初は経験者との差をすごく感じました。特にスピード感だったり、バイク経験者から話を聞いても、何を言っているのか分からなかったり。ただ、訓練が進む中で何を言っているのか理解が出来るようになり、とにかく速い候補生に追いつけなかったため、その人たちの走行を見て、チャンスがあったら一緒に走って、とにかく追いつこう追いつこうと思って頑張っていました。

## Q. 受験生へ

A. オートレーサーという職業は、速い中であんなに接近して、自分も初めて見たときはすごく興奮して、そういう魅力のある職業だと思います。試験に受かってからも、養成所では体力や忍耐力が必要だなと思うことが多いので、そんな魅力のあるオートレーサーになれるよう、どんな訓練にも食らいつき、頑張ってください!



菅原すずの Suzuno Sugawara

LG:川口オートレース場

## Q. オートレース選手になろうと思ったきっかけ

A. もともと父親がとてもバイク好きで、その影響で私も小さいころからバイクが好きになり、父と二人で川口オートに初めて行ったときに、オートレースの迫力のある大きい音、また男女関係なく、平等に戦えるところにとても魅了され、オートレース選手になりたいと思うようになりました。

## Q. オートレーサーという仕事のやりがい・魅力

A. プロの世界なので1着だったり8着だったり波があり、成績が残せずダメだなと思うときもありますが、それでも1着とれた時は頑張った分すごく嬉しくて、やっぱりオートレーサーになってよかったなと思います。

## Q. 入所試験合格に向けてやっていたこと

A. 体力が必要ということは知っていたので、腹筋などの筋トレは日頃からやっていました。  
また挨拶などといった人間性も見られると思ったので、目を見て人と話したり、布団の畳み方といった生活の中でのひとつひとつの行動も、意識して行っていました。

## Q. 受験生へ

A. バイクが好きな方やオートレースが大好きな方はオートレースという世界に入って、お金も時間も余裕がある生活ができるので皆さんどんどん試験を受けてみてください。

# オートレーサーへの道



- 2024年度より養成費用(120万円)が無償になりました!
- 年齢制限はありません!
- めがねやコンタクトでも受験が可能です!(※矯正視力1.0以上)

## オートレース選手養成所入所試験概要

### 主な応募資格

- 満16歳以上であること
- 運転免許証(原付免許も可)を有する者。
- 体重60kg以下の者。
- 両眼とも裸眼視力0.6以上、又は矯正視力1.0以上で、色覚が正常である者。

※モータースポーツ(二輪競技)指定大会経験者・成績優秀者、その他各種スポーツの成績優秀者には、受験料・一次試験が免除となる特例制度もあります。

合格倍率		一次試験 合格倍率	二次試験 合格倍率	全体 合格倍率
第36期	合格者数 【受験者数】	128名(23名) 【480名(41名)】	13名(3名) 【128名(23名)】	36.9
	倍率	3.8	9.8	
第37期	合格者数 【受験者数】	128名(23名) 【357名(37名)】	15名(3名) 【128名(21名)】	23.8
	倍率	2.8	8.5	
第38期	合格者数 【受験者数】	137名(21名) 【361名(32名)】	20名(4名) 【137名(21名)】	18.1
	倍率	2.6	6.9	

※( )内の数字は女子の人数

## オートレース選手になるまでの流れ



オートレース選手養成所  
入所試験応募



オートレース選手  
養成所入所



養成所にて  
約9ヶ月間訓練



国家試験合格・  
養成所卒業



プロ選手としてデビュー

### STEP1 〈入所試験応募〉

一般受験:2024年7月1日~8月31日 午後3時  
特例受験:2024年7月1日~10月31日 午後3時  
(参考:2024年度応募受付期間)

### STEP2 〈入所試験受験〉

一次試験:適性検査(性格・心理)  
▶10月第一日曜日全国4会場(東京・浜松・大阪・福岡)で実施  
二次試験:適性試験(性格・心理・運動機能)、面接、身体精密検査、  
体力検査、技能検査、人格素行検査  
▶11月から翌年1月にかけて(2泊3日)  
オートレース選手養成所で実施。

合格発表:翌年2月上旬

### STEP3 〈入所・訓練〉

4月1日:オートレース選手養成所入所。  
以降9カ月間の養成訓練を実施。

### STEP4 〈選手資格検定合格・卒業〉

翌年1月:所定の教育課程を終了し選手資格検定に合格  
した者は、選手養成所を卒業し選手として登録。

### STEP5 〈プロ選手としてデビュー〉

全国5カ所のレース場(川口・伊勢崎・浜松・飯塚・山陽)のいずれかに  
配属され、オートレース選手としてデビューします。



出典：国土地理院ウェブサイト

WEB SITE



<https://autorace-jia.jp/>

Instagram



JAPAN\_INSTITUTE\_OF\_AUTORACE



公益財団法人JKA オートレース選手養成所

〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙159 筑波サーキット内 TEL:0296-43-2691

競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。